

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	52	学 校 名	ふじのくに国際	校 長 名	眺野 大輔
------	----	-------	---------	-------	-------

1 スクール・ミッション

令和に誕生したフレックスハイスクールとして、生徒一人ひとりの学習スタイルやニーズを尊重し、新しい時代に対応した教育を通して、グローバルな視点を持って地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
①学校内外での活動を継続しながら、自分の夢の実現に向けて努力し続ける人 ②予測不能な未来に対し、生涯にわたって学び続ける姿勢と熱意を持ち、新しい考え方や方法を探求して地域社会に貢献する人 ③周囲の人々の多様な価値観を受け止め、自信を持って創造的に自分を表現する人	①【個に応じた学び】多様な経験を持つ生徒各自の個性を尊重して自らの取組と学業の両立を支援し、それぞれの興味・関心に対応できる選択科目や学習スタイルを提供する。 ②【探究的な学び】全教科で探究的な学びを意識し、生徒の学ぶ意欲や好奇心を育むとともに、地域課題の発見・解決を通して、探究し研究するスキルを育成する。 ③【周囲と協働した学び】地域や友人など周囲の人々の経歴や価値観を正しく受け止めるとともに、自分の考えを表現するスキルを育成する。	①学校内外での活動を大切にして学業との両立を目指すなど、多様な学びを求める生徒 ②自ら学び、探究することを通じて、積極的に地域社会に貢献したい生徒 ③周囲の意見を謙虚に受け止め、自分の考えをしっかりと述べることができるようになりたい生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア ICT等を有効に活用し、生徒が主体的に学習できるようにするとともに、個に応じた指導の充実を図り、個別最適な学びの実現を目指す。
- イ 全ての教育活動で探究的な学びに取り組むことにより、生徒の課題解決能力を養い、グローバル・グローバルな視点の新しい価値を創造していく力を育成する。
- ウ 基本的な生活習慣を確立し、心身ともに健康な身体をつくるとともに、協働的な学びを通し、社会を生き抜く力を育成し、生徒個々のウェルビーイングの向上を目指す。
- エ 個性を尊重したキャリア形成を支援し、生徒自らが夢の実現に向けて未来を切り拓いていく力を育成する。
- オ 家庭や地域、社会と積極的に向き合い、地域に貢献する人づくり・信頼される学校づくりを推進する。
- カ 様々な課題に応じた相談・支援体制の充実を図り、生徒が多様な価値観や個性を尊重し、望ましい人間関係を形成する力を育成する。
- キ 国際バカロレア教育導入に向けて、教育プログラム等の研究を推進するとともに、その魅力を県民及び他校に積極的に発信する。
- ク 働き方改革を推進するとともに、時代に対応した多様で魅力ある学びの場の整備・充実を図る。

様式第1号

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	ICT等を有効に活用し、生徒が主体的に学習できるようにするとともに、個に応じた指導の充実を図り、個別最適な学びの実現を目指す。	○生徒の実態に即しつつ、授業内容が理解できるよう授業改善・工夫を行う。	○教員は授業内容を理解できるよう指導していると答える生徒 80%以上	学び支援
		○ICTの活用方法について教員研修を行う。	○ICTを授業で活用したと答える教員 90%以上	未来支援（研修）
		○生徒個人端末等のICTを授業で活用したり課題配信に利用したりして、学力と情報活用能力を高める。	○個人端末を活用し、授業で自分の考えが深められたと答える生徒 70%以上	学び支援（DX）
イ	全ての教育活動で探究的な学びに取り組むことにより、生徒の課題解決能力を養い、グローバル・グローバルな視点の新しい価値を創造していく力を育成する。	○生徒が自分事として主体的に問いを立て、課題解決をめざすマイプロジェクト探究を実践する。 ○静岡大学や島田市、国内外の様々な機関と連携・協働し探究学習を充実させる。 ○全ての教員が探究的な学びを意識した授業実践を積極的に行う。	○授業を通して課題解決に取り組む意欲が向上したと答える生徒 80%以上 ○外部との接点を持ったと答える生徒 100% ○各教科の授業の中で探究的な手法を取り入れた教員 100%	探究 CO 総探推進委員会
		○多様な才能・資質を持つ生徒に、活躍の場を提供する。	○生徒個々の能力や個性を大切にしていると答える生徒 80%以上	学び支援
		○総合的な探究の時間を軸に各教科科目の授業において教科を横断した探究的な学びを指導できるよう研修を行う。	○校内研修によって知識・技能が高まった教員 80%以上	未来支援（研修）
ウ	基本的な生活習慣を確立し、心身ともに健康な身体をつくるとともに、協働的な学びを通し、社会を生き抜く力を育成し、生徒個々のウェルビーイングの向上を目指す。	○生徒が安心・安全な学校生活を送れるよう、社会生活に必要なルールやマナーを習得させる。 ○生徒が学校行事等の企画・運営に主体的・協働的に参加し、自己存在感・自己有用感を高められるように工夫する。 ○交通安全意識を高める活動を定期的に行う。	○安心して学校生活が送れていると答える生徒 80%以上 ○自分に良いところがあると答える生徒 70%以上 ○自分のニーズにあった学校生活を送ることができていると答える生徒 80%以上 ○交通事故発生件数：0件	生徒支援
		○多様な生徒が満足できる書籍を揃える。	○図書館を利用したと答える生徒 60%以上	総務企画
		○「生活習慣チェック」を毎月行い、自分の生活や健康について把握、見直すことで基本的生活習慣を身に付けさせる。	○朝食摂取率：60%以上	健康支援
エ	個性を尊重したキャリア形成を支援し、生徒自らが夢の実現に向けて未来を切り拓いていく力を	○進路希望調査や進路ガイダンス等、校内だけでなく校外とも連携し、生徒が自らを見つめ、キャリア形成を意識する機会をつくる。	○自分自身について考えた（自己理解に努めた）と答える生徒 80%以上 ○高校卒業後の自分自身の生き方について考えたと答える生徒 60%以上	未来支援

様式第1号

	育成する。			
オ	家庭や地域、社会と積極的に向き合い、地域に貢献する人づくり・信頼される学校づくりを推進する。	○命を大切にする防災教育を行う。	○地域防災訓練の日程・避難所又は、自宅の防災用具・食料を確認した生徒 70%以上	総務企画
		○ホームページやSNSの更新など適切な運用を行う。	○学校は情報をよく提供してくれると答える保護者 80%以上	総務企画 広報推進タスクフォース
		○奉仕活動等を通して、地域を理解し、共に生きる態度を育成する。	○他人への手助けやボランティア活動を行った生徒 60%以上	生徒支援
カ	様々な課題に応じた相談・支援体制の充実を図り、生徒が多様な価値観や個性を尊重し、望ましい人間関係を形成する力を育成する。	○生徒のあらわれをデータベース化し、外部の専門職も交えて情報交換を行う。 ○外部講師を活用し、生徒に対してコミュニケーションスキルに関する指導を行う。 ○初期対応を重視し、臨機応変にサポート会議を開催する。 ○SC、SSWr等の専門職と連携を取り、行政や医療機関に繋げる。	○先生方は悩みや相談に応じてくれると答える生徒 80%以上 ○生徒の多様性に配慮した指導をしていると答える教員 100%	健康支援 (教育相談室) 特支 CO 生徒支援
キ	国際バカロレア教育導入に向けて、教育プログラム等の研究を推進するとともに、その魅力を県民及び他校に積極的に発信する。	○Pre-DPに対応する時間割を作成する。 ○IB先進校視察等の研究・調査を推進する。 ○IB志願者選抜のための学校裁量枠について検討し、具体的な内容について広報を実施する。	○令和7年度時間割において、Pre-DP対応として1科目以上設定 ○志保地区及び小笠・掛川地区の中学校訪問を2回以上、学習塾訪問を1回以上実施	DPCO IB準備委員会
		○ホームページやSNSを活用して中学生や保護者が求める情報を発信し、効果的な広報を実施する。	○IB学校説明会参加者のべ300人以上	学び支援 総務企画 広報推進タスクフォース
ク	働き方改革を推進するとともに、時代に対応した多様な魅力ある学びの場の整備・充実を図る。	○校内分掌を整え業務分担を職員室等に掲示し、全職員が常時確認できるようにする。また、HP等でも発信する。 ○履修登録システムや出欠管理システム、採点支援システムなど、ICTを活用した業務の改善を図る。 ○デジタル連絡ツール(C-ラーニング)を適切に活用する。	○毎月の時間外勤務時間の一人当たりの平均時間 30 時間以下 ○C-ラーニングの使用率 教職員：100% 生徒・保護者：95%以上	学び支援 (DX) 管理職
		○定期的な安全点検の実施による施設設備の課題の把握 ○施設設備の計画的な整備・充実	○施設設備に起因する事故 0 件	事務部
		○不祥事根絶を目標に、法令遵守の意識向上のための取組を実施する。	○校内コンプライアンス委員会を毎月開催	校内コンプライアンス委員会